

学習指導要領と「NIE」 日本新聞協会ホームページより

教科書からの離陸

小・中の前解説書「指導内容のまとめ方や重点の置き方」に示されていた「教材等の精選を図る」という記述が今回削除されました。前述(1)～(4)達成のために授業時間を増やす一方、「基礎・基本的な知識・技能の確実な定着やその活用を図る学習活動の充実を重視するために教科書だけでなく、各学校において使用される各種教材等についても質・量両面での充実が必要」と記述しています。文科省幹部はこの趣旨を「教科書からの離陸」と解説し、「教科書に始まり教科書に終わる教育ではいけない。今日の教育は教科書をベースにしつつも、多様なテキストを活用した効果的な指導が必要。テキストの中で新聞が重要な位置を占める」と話しています。

国立教育政策研究所が3年計画で実施した「キー・コンピテンシーに基づく学習指導法のモデル開発に関する研究」で、08年度は新聞活用を取り上げ「子供たちの市民性を育成するための教材開発」研究が行われました。関東のNIE実践教師15人が参加し、子どもたちが現在直面する、あるいは将来遭遇するであろう課題を新聞記事から拾い出し、図書資料やインターネットも利用しながら課題に立ち向かう多彩な授業が展開されました。10年3月刊行された研究報告書には「3年間の授業で一番集中できて楽しかった」(中3)など子どもたちの言葉とともに、「改めてNIEの力を認識した」という教師の手応えが掲載されています。あらゆる分野での激しい変化と情報化の時代に、リアリティーのある教育を推進し子どもたちの学ぶ意欲を促すために、新聞活用は教科を超えて重要性が増すでしょう。

メディア&情報リテラシー

新学習指導要領に直接的な記載はありませんが、中教審の過程では盛り込みが検討されました。変化と情報の時代を生きるには、メディアの特性を知り、情報的確な読み取りと活用力が不可欠で、リテラシーの育成はきわめて今日的な教育テーマになっています。

各校種の国語での「新聞」の記述は国語教育であると同時に、メディア・情報リテラシー教育でもあります。一例を挙げてみましょう。

- ・「疑問に思ったことを調べて報告する文章を書き、それを学級新聞などに生かすなどの言語活動」(小3、4年 書くこと)
- ・「編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読む」(小5、6年 読むこと 言語活動例)
- ・「必要な情報を集めるための方法とは、必要な情報があるかどうかを、本の表題や目次、索引等から判断したり、新聞の紙面構成等に基づいて、必要な部分を探して読んだりするなど、それぞれの資料の特性を生かした読み方をすること」(中1 読むこと 解説)
- ・「新聞やインターネット、学校図書館等を活用して得た情報を比較する」(中2 読むこと 言語活動例)
- ・「論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読む言語活動」(中3 読むこと 言語活動例)
- ・「情報を収集し、分析して、自分の考えをまとめたり深めたりする。情報には書籍や文書などの印刷物、新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどのマスメディア、あるいはインターネットなどを通じて接することができる。情報を分析するとは、収集した情報を的確に理解してその要素などを明らかにし、情報の正誤、適否などを吟味した上で、必要なものを適切に整理することである」(高校・国語表現)

上記のように、国語教育の中で新聞がステップアップする内容で指導対象になっています。「新聞をつくる」「新聞を活用する」「新聞の機能を知る」というNIEの3要素がすべて盛り込まれており、こうした学習が思考力・判断力・表現力をつけ、メディアと情報のリテラシー育成につながることはNIEを経験した教師は理解するでしょう。

学習指導要領・解説書における「解説」部分の一部抜粋 「新聞」に関連する記述 ①

【国語】

○3年、4年「B 書くこと」

内容 → ②言語活動例

イ 疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、**学級新聞**などに表したりする。

解説 → 設定した相手、目的や場面に応じて、書く材料の収集や選択の仕方、まとめ方などを様々な工夫することになる。報告する文章や**学級新聞**などの特徴に基づいて書くことが必要となる。

学級新聞では、複数の種類の文章を集めて編集し、見出しを付けたり記事を書いたり、割り付けをすることになる。

○5年、6年「B 書くこと」

内容 → ②言語活動例

イ 自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりする。

解説 → 「書いたり編集したりする」こととは、一つの文章を書くことに加え、複数の文章を一定の目的の基に組み合わせて表現することである。例えば、意見や活動の報告文集、本や**新聞**、リーフレットやパンフレットなどを編集することなどが考えられる。

○5年、6年「C 読むこと」

内容 → ①指導事項

イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する。

解説 → 高学年になると、読む目的も多様化し、調べる範囲も学校図書館から地域の公共図書館や資料館などへと広がる。更には、本を中心とした資料から**新聞**や雑誌、インターネットなど様々なメディアへと、その活用や情報収集の範囲も広がっていく。

オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする。

解説 → 「本や文章を読んで考えたことを発表し合い」とは、文学的な本や文章、説明的な本や文章など多様な本や文章を読み、目的に応じて報告や意見、解説や**新聞の記事**、推薦などの文章として考えをまとめ発表し合うことである。

カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。

解説 → 適切な本や文章を選ぶために、学校図書館やインターネットなどの利用に関する知識、情報モラルなどを身に付けさせることが求められる。実際に読書を日常的に行う生活をつくっていくために、本に限らず**新聞**や雑誌、パンフレット、インターネットのホームページなど、様々な資料を活用できるよう工夫する。

内容 → ②言語活動例

イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用する。

解説 → 「意見を述べた文章や解説の文章など」には、本以外では**新聞**、雑誌、地域の情報誌などに掲載された意見、論説、報道、解説などの文章がある。意見や解説の文章は、書き手の立場や考え方が強く反映しているのでそれらに注意して読み、自分との相違点などに注意して利用することが重要である。

ウ 編集の仕方や記事の書き方に注意して**新聞**を読む。

解説 → **新聞**を取り上げ、編集の仕方や記事の書き方に注意して読む言語活動である。

新聞の編集に当たっては、活字や図、写真などの大きさや行数、配置などを決める割り付けなどが行われている。記事は、逆三角形の構成と呼ばれることもあるように、結論を見出しで先に示し、リードから本文へと次第に詳しく記述されている。また、事件や出来事の報道記事だけでなく、社説・コラム・解説などの記事もある。このような特徴を理解し、編集の仕方や記事の書き方に注意して読むことが大切である。

学習指導要領・解説書における「解説」部分の一部抜粋 「新聞」に関連する記述 ②

【社会】

○3年、4年

内容の取扱い → (5) ウ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例

解説 → 「地域の発展に尽くした先人の具体的事例」を調べるとは、開発、教育、文化、産業などの面で地域の発展に尽くした先人の具体的事例のいずれかを取り上げ、地域の発展に対する先人の願いや工夫・努力、苦心、地域の人々の生活が向上したことなどを具体的に調べることである。ここでは、用水路を開く、藩校や私塾を設ける、**新聞**を発刊する、新たに産業を興すなど、地域の発展に貢献してきた人々が、強い信念をもって情熱を傾け、よりよい生活を求めて努力したことや、これらの先人の働きや苦心によって地域の人々の生活が向上したことなどを取り上げることが考えられる。

○5年

内容の取扱い → (4) 我が国の情報産業や情報化した社会の様子について次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする。

解説 → 「我が国の情報産業」とは、多種多様な情報を収集し、選択・加工して提供している放送、**新聞**などのマスメディアや、インターネットなどの情報ネットワークを形成して情報を文字、音声、映像などで瞬時に伝えるサービスを提供している産業を指している。

「情報化した社会の様子」とは、通信技術の発達と高度化によって情報の生産や相互のやりとりが大量・高速・広域化し、教育、文化、産業、日常生活などの様々な場面において大きな変化が見られることを指している。「調査したり資料を活用したりして調べ」とは、例えば、人々が日常の生活や産業で必要な情報をどのように入手し活用しているのかを調査したり資料を活用したりして調べること、放送、**新聞**などの産業では多種多様な情報を収集し、選択・加工して提供していることを視聴覚教材などを活用して調べること、情報ネットワークを有効に活用して公共サービスの向上に努めている人から話を聞いたり資料を活用したりして調べることなどが考えられる。「情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする」とは、情報の有用性や役割、情報の適切な収集・活用、発信や伝達の仕方、情報化のもたらす様々な影響などをもとに、情報化した社会において人々が主体的に生きていくためには情報を有効に活用することが大切であることについて考えるとともに、様々な情報に対して適切に判断し、望ましい行動をしようとする能力や態度を身に付けることである。

内容の取扱い → ア 放送、**新聞**などの産業と国民生活とのかかわり

解説 → 情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考える手掛かりとして、放送、**新聞**などのマスメディアを通して情報を提供している産業と国民生活とのかかわりを調べる対象として挙げている。

「放送、**新聞**などの産業と国民生活とのかかわり」を調べるとは、日常の生活や産業における情報手段や情報の利用の様子を取り上げ、放送、**新聞**などの産業と国民生活とのかかわりを具体的に調べることである。ここでは、近年の情報化の進展に伴い、我が国ではテレビやラジオ、**新聞**、電話、コンピュータなどの様々な情報手段が普及していることや、人々は放送や**新聞**などの産業が発信する情報を日常の生活や産業活動の多方面で活用し、様々な影響を受けていることなどを取り上げることが考えられる。

内容の取扱い → (5) アについては、放送、**新聞**などの中から選択して取り上げること。

解説 → ここでは放送、**新聞**などの中から一つを選択して取り上げ、そのメディアのもつ働き、国民生活とのかかわりについて具体的に調べられるようにする。

学習指導要領・解説書における「解説」部分の一部抜粋 「新聞」に関連する記述 ③

【総合的な学習の時間】

内容の取り扱いについての配慮事項 → (6) 学校図書館の活用、他の学校との連携、公民館、図書館、博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用などの工夫を行うこと。

解説 → 総合的な学習の時間における問題の解決や探究活動の過程では、様々な事象について調べたり探したりする学習活動が行われるため、豊富な資料や情報が必要となる。学校図書館やコンピュータ室の図書や資料を充実させ、コンピュータ等の情報機器やネットワークを整備することが望まれる。最新の図書や資料、**新聞**やパンフレットなどを各学年の学習内容に合わせて使いやすいうように整理、展示したり、関連する映像教材やデジタルコンテンツを揃えていつでも利用できるようにしたりしておくことによって、調査活動が効果的に行えるようになり、学習を充実させることができる。

＜総合的な学習の時間の学習指導のポイント＞

内容 → 【④まとめ・表現】 気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する

解説 → 情報の整理を行った後、それを他者に伝えたり、自分自身の考えとしてまとめたりする学習活動を行う。例えば、調査結果をレポートや**新聞**、ポスターにまとめたり、写真やグラフ、図などを使ってプレゼンテーションとして表現したりすることなどが考えられる。相手を意識して、伝えたいことを論理的に表現することで、自分の考えは一層確かになっていく。

【理科】

○5年

内容 → B 生命・地球 (4) 天気の変化

解説 → イ テレビや**新聞**、インターネットを活用し、数日間の天気の様子を調べ、天気はおよそ西から東へ変化していくという規則性があることをとらえるようにする。

【生活】

内容 → (8) 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。

解説 → 集めた情報を**新聞**やポスターにまとめたり、パンフレットにしたりして地域の人たちに発信していくことも考えられる。さらには地域についての発表会に発展することもある。こうした活動の過程においては、手紙や電話、ファックスなどを使って情報のやり取りをすることや、情報を収集したり発信する活動が想定される。

【道徳】

内容 → 3 道徳の時間に生かす指導方法の工夫 (7) 説話の工夫

解説 → 説話とは教師の体験や願い、あることについての感じ方や考え方などを語ったり、日常生活問題、**新聞**、雑誌、テレビなどで取り上げられた問題などを盛り込んで話したりすることによって、ねらいの根底にある道徳的価値を一層主体的に考えられるようにしようとするものである。教師が意図をもってまとめた話をするのは、児童が思考を一層深めたり、考えを整理したりするのに効果的である。

内容 → 3 魅力的な教材の開発や活用

解説 → 教材の開発に当たっては、日常から**新聞**や書籍、身近なできごと等に強い関心をもつとともに、柔軟な発想をもち、教材を広く求める姿勢をもつことが大切である。具体的には、先人の伝記、自然、伝統と文化、スポーツなどを題材として、児童が感動を覚えるような教材の発掘に努めることが求められる。